

発行所
株式会社 中外日報社
©中外日報社2025
京都本社 〒601-8004 東京支社 〒113-0033
京都市南区東九条東山王町9 東京都文京区本郷4-9-13
電話 (075)671-3211(代) 電話 (03)3816-4721(代)
FAX (075)671-2140 FAX (03)3811-5222
https://www.chugainippoh.co.jp
Eメールhenshu@chugainippoh.co.jp



購読料
一月 二、七〇〇円
三月 七、〇〇〇円
半年 一三、〇〇〇円
一年 二五、〇〇〇円

社寺建築 設計監理
株式会社 中村建築研究所
信州善光寺顧問 会長 高橋 賢二
代表取締役社長 高橋 修一郎
『寺院建築入門』全3巻を無料進呈中。

保険料高騰、寺院から悲鳴



ひとたび水害に見舞われると被害は建物だけでなく仏具や墓石など広範に及ぶ(2018年7月、豪雨被害を受けた岡山県倉敷市真備町の寺院)

負担額3倍の寺院も

損害保険料率算出機構 社が台風や洪水などの被害が公表している統計「火害」に対して支払った保険金(総額)は、死者14人を出した台風21号などの

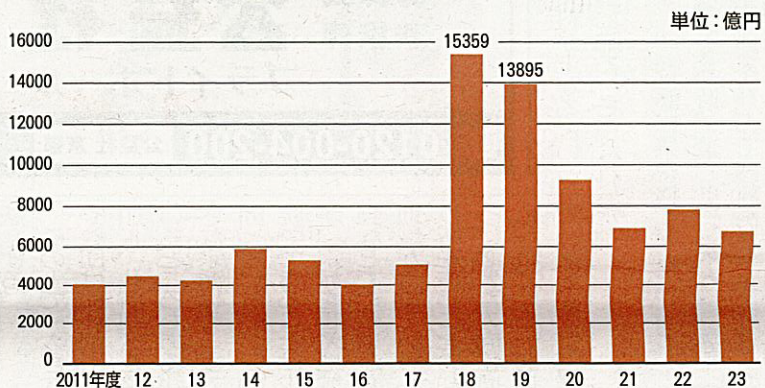
近年、台風や豪雨による大規模水災が頻発しているに伴い、火災保険料が大きく高騰している。保険料の支払いが数倍になった寺院もあり、対応に苦慮する声は少なくない。ただ、保険業関係者は「保険料の上昇は今後も止まらない。複数の保険会社から見積もりを取るなど契約の見直しをしっかりとった方がよい」と指摘する。

(本紙取材班)

大規模災害相次ぎ支払増 収入減少の中余裕なく



支払保険金総額の推移



注: 損害保険料率算出機構「火災保険・地震保険の概況」を基に作成

台風などが甚大な被害をもたらした2018、19年度は支払総額が跳ね上がった

大規模水災が発生した18年度は約1兆5359億円に跳ね上がり、19年度も100人以上が犠牲になった台風19号などで約1兆3895億円に上った。保険会社の収支が悪化した。

保険代理店大手「共立」(東京都中央区)で法人生活営業部参事役を務める岡田亮氏によれば、以前は保険料の改定は十数年に1度ほどだったが、近年は改定の頻度が上がっている。14年以降は4度の改定があり、直近では23年6月の参考純率(実質的な保険料の原価)改定で全国平均で13%引き上げられたのを

受け、損害保険各社では昨年10月以降、保険料が引き上げられた。今年はさらなる値上げが予想されるという。

築年数や地域によって30%以上の値上げが発生するケースもある。24年10月から水災のリスク評価が5段階で設定されるようになり、最も危険度の高い地域では約9%の保険料上乗せも発生。また22年から最長契約期間が10年から5年に短縮され、保険料の変動の影響をさらに受けやすくなっている。

真宗佛光寺派本山佛光寺(京都市下京区)は本山と本廟の全ての建物を対象にした火災・落雷・破損などの場合が上限10億円、水災・雷が上限5千万円、突発的な事故が上限1億円)に加入している。保険料は年々、高騰している。

契約は3年ごとに更新。19年7月、22年6月が約300万円(年間約100万円)だった保険料は22年7月、今年6月に約600万円(同約2倍)に上がった。3年後の更新の契約更新以降は、単年契約になるといわれている」と話した。

物価上昇 追い打ち

佛光寺派のある住職は「うちの寺は昨年まで10年契約で年額約60万円の保険料だった。しかし昨年から単年契約の上、保険料はほぼ倍額になる」と話した。総代会が紛糾し、断られた会社もある。最終的に120万円弱の金額を提示した社に決めたが、不足分は寺の修繕のために毎年積み立てている積立金を充当した。このままでは伽藍の修理や補修が難しくなる。当初予定していた本堂のエアコンの新調は断念した。とため息をついた。

このほか「最長契約期間が5年に短縮される直前の22年に10年で契約したが、うちの寺は過疎地

寺社の土地活用
ザ・貸地
名古屋 京都 東京
0800-100-4100 株式会社ブルーボックス
愛知県瀬西市正明寺二丁目16番4号

きょうの紙

- ▶ 法華経を平易に講説 戸津説法で小堀住職 = 3面
- ▶ 供養と祈りの念仏捧ぐ 大本山光明寺で終戦80年法要 = 3面
- ▶ <令和の仏教を歩く> 鶴飼秀徳氏「宗教法人の収益事業破綻」 = 4面